

# 敦賀市議会

# 議会だより

3月  
定例会

## CONTENTS

委員会構成	2
意見書の提出	3
常任委員会審査報告	4~7
特別委員会中間報告	8
代表・一般質問	9~14
審議結果一覧	15
議会日誌、6月定例会の日程	16



令和2年8月 建設現場視察



## 角鹿小中学校開校

令和3年4月 小中施設一体型の新校舎完成



角鹿ホール

視覚障がいのある方等を対象として音訊（CDに録音）された議会だよりもあります。  
ご希望の方は敦賀市社会福祉協議会までご連絡ください。  
敦賀市社会福祉協議会 [電話 0770-22-3133 (代)]

# 委員会構成

3月定例会において、委員会とメンバーの構成が変わりましたので紹介します。

## 議会運営委員会

条例に基づいて設置され、議会を円滑に運営するための協議を行います。

- 委員長 浅野好一
- 副委員長 縄手博和
- 委員 山本武志
- 〃 中道恭子
- 〃 川端耕一
- 〃 豊田耕一
- 〃 山本貴美子
- 〃 有馬茂人
- 〃 馬淵清和
- 〃 立石武志

## 常任委員会

条例に基づいて設置され、全議員が必ずいずれかの委員会に所属します。定められた所管事務の調査を行い、市長から提出された議案や、市民からの請願などを審査します。

### 【総務民生常任委員会】

- 委員長 林 恵子
- 副委員長 中野 史生
- 委員 今大地 晴美
- 〃 大塚 佳弘
- 〃 前川 和治
- 〃 福谷 正人
- 〃 立石 武志

(※1名欠員)

### 【産経建設常任委員会】

- 委員長 山本武志
- 副委員長 川端耕一
- 委員 縄手博和
- 〃 三國 真弓
- 〃 松宮 学
- 〃 浅野 好一
- 〃 石川 栄一
- 〃 林 正男

### 【文教厚生常任委員会】

- 委員長 中道 恭子
- 副委員長 和泉 明
- 委員 今川 博
- 〃 豊田 耕一
- 〃 山本 貴美子
- 〃 有馬 茂人
- 〃 馬淵 清和
- 〃 北村 伸治

### 【予算決算常任委員会】

- 委員 長石川 栄一
- 第1副委員長 馬淵 清和
- 第2副委員長 今川 博
- 委員 議長を除く全議員

## 特別委員会

特定の案件について集中的な審査、調査が必要なとき、議会の議決によって設置されます。

### 【原子力発電所特別委員会】

- 委員長 福谷 正人
- 副委員長 石川 栄一
- 委員 中道 恭子
- 〃 縄手 博和
- 〃 川端 耕一
- 〃 今川 博
- 〃 豊田 耕一
- 〃 山本 貴美子
- 〃 和泉 明
- 〃 立石 武志

### 【新幹線対策特別委員会】

- 委員長 縄手 博和
- 副委員長 浅野 好一
- 委員 山本 武志
- 〃 中道 恭子
- 〃 林 恵子
- 〃 川端 耕一

### 【廃棄物対策特別委員会(※)】

- 委員長 馬淵 清和
- 副委員長 今川 博
- 委員 今大地 晴美
- 〃 中道 恭子
- 〃 林 恵子
- 〃 松宮 学
- 〃 浅野 好一
- 〃 和泉 明
- 〃 有馬 茂人
- 〃 林 正男

### 【※廃棄物対策特別委員会】

3月定例会において、廃棄物対策特別委員会を設置する議員提出議案が可決されたことにより、新たに設置されました。

新一般廃棄物最終処分場及び新清掃センターの整備に関することや、本市と美浜町との一般廃棄物の共同処理に関すること、また、その他本市の一般廃棄物最終処分場及び清掃センターに関することについて、調査を行うことを目的としています。

# 意見書の提出

3月定例会で、議員より提出された意見書案が、賛成多数で可決され、国会及び関係省庁に意見書を提出しました。件名及び内容は下記のとおりです。

## ◎エネルギー基本計画見直しに関する意見書

エネルギーは国民生活や産業活動の根幹をなすものであり、将来にわたって安定的に確保していくことが、エネルギー安全保障にとって不可欠なものである。

国は平成30年7月に原子力発電を低炭素の準国産エネルギー源である重要なベースロード電源と位置付ける「第5次エネルギー基本計画」を策定した。

また、令和2年10月に2050年カーボンニュートラルを宣言し、令和2年12月には、原子力は確立した脱炭素技術であるとし、引き続き最大限活用していくとした「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定した。

本市は、国策である原子力発電との共存共栄を、半世紀にわたり市の方針とし、エネルギー政策の実現に向けた取組に対して全面的に協力してきた。しかし、現在、敦賀発電所1号機、新型転換炉原型炉「ふげん」、高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置及び敦賀発電所2号機の破砕帯問題による長期運転停止によって、市の財政及び地域経済が困難な状況に追い込まれているのは間違いなく、人口減少にも拍車がかかる状況である。

特に、平成28年12月、国が一方的に「もんじゅ」の廃止措置を決定したことは、国と立地地域との信頼を大きく損なわせるものである。

さらには、本市で計画されている「敦賀発電所3,4号機増設計画」については、平成14年8月に国の電源開発基本計画に組み入れられ、平成16年3月に日本原電が原子炉設置変更許可申請を行い、平成22年3月には敷地造成が完了している状況でありながら、福島第一原子力発電所の事故以降、国の新增設・リプレースの方針が定まらないがゆえに事業が中断している状態にある。

このような状況が続くことは、今後の本市の発展、エネルギーの安定供給や2050年カーボンニュートラルの達成にも大きな影響を与えることが必至であり、長期的な視点に立ち最新の知見を反映した安全性の高い原子力発電所への転換にもつなげる新增設・リプレースについて早期に明確な方針が示される必要がある。

よって、「総合資源エネルギー調査会基本政策分科会」等で議論を進められ、今夏にも方向性を出すと言われている「第6次エネルギー基本計画」の見直しにあたり、敦賀市が今後も国策である原子力政策に協力していくためにも、下記の事項について強く要望する。

## 記

- 1 ベースロード電源である原子力発電の将来のあり方について、国内における原子力発電所の再稼働や運転延長及び廃炉の計画を見通した上で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた長期的視点に立った議論を行い、新增設・リプレースを含めた原子力政策の確固たる方針を明確に示すこと。
- 2 第5次エネルギー基本計画において、敦賀エリアを原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点として整備していくとしているが、引き続き本市を中核的研究開発拠点に位置付けその実現に向けた具体的施策を示すこと。
- 3 第5次エネルギー基本計画において、使用済燃料の安全で安定的な貯蔵が行えるよう、官民を挙げて取り組むとしているが、使用済燃料の敷地外への早期搬出に向け、国が前面に立ち、中間貯蔵施設や再処理工場の早期整備を明確に示すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月22日

敦賀市議会



# 第1回敦賀市議会定例会

## ● 予算決算 ● 常任委員会

### 〔第9号議案〕

令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第21号）

### 質疑

◎新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策経費

問 子どもたちの学習保障を行うために必要となる新たな試みとは何か。

答 GIGAスクール構想における1人1台端末等のICT機器をこれまで以上に授業で活用するため、大型ディスプレイの購入を考えている。大型ディスプレイを活用し、子どもたち一人一人の考えを効率的に提示したり、共有することができる。また児童、生徒が一堂に会した全校集会や学校行事等の中継、録画配信などにより行う予定の学校もある。

問 追加する保健衛生用品及び学習支援等に必要な備品等の品目・数量を伺う。

答 保健衛生用品として、フェイスシールドやアルコール消毒液やハンドソープ等の消耗品を、学習支援等に必要な備品として、大型ディスプレイ15台の購入を予定している。

### 採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



### 〔第10号議案〕

令和3年度敦賀市一般会計予算

### 質疑

◎嶺南Eコースト計画推進事業費

問 事業の目的は企業を誘致することなのか。産業間連携推進事業では研究開発に対して補助を行っているが、誘致後に研究費の補助を行うことはないのか。

答 企業の自立自走を前提とした誘致を考えている。誘致後の補助については、将来的に産業間連携推進の補助メニューに合致することがあれば、検討することになる。

問 水素や再エネ供給を強みにして企業誘致を図るといふことだが、まだ強みとして確立していないのではないのか。水素や再エネ供給の基盤整備ができていくことを前提とした企業誘致なのか。

答 現在、市ではVPP（バーチャルパワープラント）に取り組んでおり、再エネを供給できることを強みとして企業誘致を図りたい。今後、いかに発電リソースを増やすかが課題であり、嶺南Eコースト計画全体の中で、県、電力事業者とともに協議、実証を進めていきたい。

問 市としての具体的な目標を示して、それを達成するための企業誘致を図るべきだと考えるが、具体的な目標は持っているのか。

答 市の意向を示すとともに、企業からの提案もいただきながら、双方で協議を進め、今後の方向性を定めていく形になる。

◎ふるさと納税事業費  
問 令和3年度の寄附見込額の考え方を伺う。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により家庭の可処分所得や家計消費支出が縮小傾向にあるとの調査結果もあることから、ふるさと納税を控える可能性があることを踏まえ、令和3年度の寄附見込額を令和2年度の決算見込額の6割程度とした。

◎保育園ICT推進事業費

問 具体的な整備内容について伺う。

答 公立保育園10園にWi-Fiの環境整備及び登降園等の管理を行うためのタブレット端末の設置を行う。

問 Wi-Fi環境の整備及びタブレット端末にかかる費用について伺う。

答 Wi-Fi環境の整備にかかる経費については今回整備を行う10園全体でネットワーク機器設計に311万円。配線工事に700万4000円を見込んでいます。また、タブレット端末については1台あたり3万4800円を見込んでいます。

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

**問** 保育園ICTを推進することによって考えられる保護者及び保育士のメリットについて伺う。

**答** 保護者のメリットとして、現在、電話で受け付けている欠席及び遅刻の連絡について、時間に関係なく受付が可能になる。また、紙媒体で行っていたお便りについても電子配信になり、登録した家族はすべて受け取ることができるようになること。保育士のメリットとして、指導計画や園児の出欠管理がシステム化されることにより、業務の効率化が図れること。さらに、アンケート機能を利用して、園の運営などについてアンケートを取ること、業務の資質向上につながると考えている。



**◎敦賀きらめき温泉改修事業費**  
**問** 中央監視装置入れ替え修繕の必要性を伺う。

**答** 中央監視装置はリラ・ポート館内のボイラー等の熱源系統、温度調節設備等の空調系統といった各設備の始動、停止の発信、稼働状況、警報監視等を一括管理する装置である。平成14年のリラ・ポートの開業時に導入され

たもので、メーカー推奨の使用期間である10年や法定耐用年数の15年を大きく経過しており、内蔵されているOSもサポート期間がすでに終了しているため、大きな故障が起きた場合の修理が困難な状況にある。メーカーからも入れ替えを推奨されており、最近1、2年においても異常警報の非点灯や、画面のブラックアウト等の細かな故障もあり、大きな故障が発生した場合に各設備が長期間無監視状態とならないよう、安全性を踏まえ、リラ・ポートの再開までに入れ替える必要があると考えている。

**◎公共空間利活用推進事業費**

**問** 令和2年度は大掛かりなイベントを行い、令和3年度は細かなイベントを行うとのことだが、事業の目的や市が行うことの違いは。

**答** 今年度は、11月1日に国道8号空間を活用した大掛かりな社会実験を行ったが、次年度もそれに引き続き2年目の社会実験を行い、その場で活躍出来るプレーヤーの育成・発掘をしていきたいと考えている。今年度と異なる点として、2つのコンセプトを掲げており、1つ目は普段使いということ、大掛かりなイベントではなく、市民活動団体や地元の方に気軽な発表

の場として利用してもらおう可能性を探ることである。2つ目は社会実験の第2弾に近いが、今年度のコンセプトであった食・物販・音楽に、芸術文化を新たにプラスし、より市民の方が参加しやすいサンプルイベントを展開していくことである。最終的には、行政や主催者が絡むことなく、市民の方が独自に国道8号空間で活動できるように仕組み、制度設計に繋がっていきたくと考えている。

**問** 行政自らが実施主体にならないければ、事業目的が伝わりづらいと思うが、港都つるが(株)へ業務を委託する理由は。

**答** 港都つるが(株)に対して業務を丸投げするわけではなく、例えば、今年度の社会実験の際には、商店街や民間団体との調整、先進的な自治体の紹介等、行政だけでは対応が難しい部分をフォローしてもらった。契約相手側が、地権者もしくは都市再生推進法人という法人格を持ったまちづくり法人等であれば、ほこみち制度(※)の占用権限を与えられるため、将来的には、まちづくり法人がほこみち制度の受け皿となる可能性が見えてきている。行政ではなく民間が主導することで、公共空間の利活用に繋げるという制度設計で

あるため、現在、市内でまちづくり法人に最も近い団体であると考えられる港都つるが(株)を活用し、行政がしっかりとコントロールしたもとの、国道8号空間の使い方を模索していきたいと考えている。

**【※ほこみち制度】**

歩行者中心又は賑わいのある道路空間を創出するための道路の指定制度。正式名称「歩行者利便増進道路制度」

**採決 賛成多数**

原案どおり認めるべきものと決定

**質疑**

「第17号議案」  
令和3年度市立敦賀病院事業会計  
予算

**◎医療従事者修学資金貸与事業費**  
**問** この修学資金の貸与を受け、令和3年度に敦賀病院に就職する予定者は何名か。

**答** 16名を採用予定で、うち10名は敦賀市立看護大学の学生である。

**採決 全会一致**

原案どおり認めるべきものと決定

## 総務民生 常任委員会

〔第23号議案〕  
押印を求める手続の見直しに伴う  
関係条例の整備に関する条例制定  
の件

### 質 疑

問 市民が住民票や納税証明書などの各種申請を行う際に、押印が不要となるのか。

答 本条例は、あくまで条例中にうたわれている押印の規定を廃止するものであり、住民票の交付申請等、条例以外の法令、規則、要綱、要領などに規定されている押印の廃止については、別途、各々で押印廃止の手続きを進めている。

問 「署名押印」を「署名」に改めるとあるが、署名が困難な方に対する配慮はされているのか。

答 これまでも、署名が困難な方には、本人確認を行い、本人同意のもと、代筆による受付も行っている。今後も、不正な手続きの防止に努めながら、市民に寄り添った運用をしたい。

問 署名が、本人の自書によるものであるという確認は行わないのか。

答 今回の目的は、不要な押印を廃止することである。署名押印のうち、押印のみを廃止し署名が残る場合でも、元々本人確認を求める規定があるものについては、引き続き本人確認をさせていいただく。

問 押印だけを廃止しても、署名の間が残るのであれば、利便性はさほど変わらないのではないか。

答 基本的には署名の義務付けも廃止するが、「国及び県の法令、条例、通知等により署名が義務付けられているもの」など、手続きの性質・事情等に即して実質的な必要性が認められるものについては、例外的に署名を残すことになる。

### 採 決 全会一致 原案どおり認めるべきものと決定



## 産経建設 常任委員会

〔第34号議案〕  
敦賀市水道事業給水条例の一部を  
改正する条例の一部改正の件

### 討 論

賛成 コロナ禍で、収入が減少した人が多い状況の中、水道料金の改定を令和3年10月1日まで再延期することは、市民にとって助けになると考えるため、賛成である。

### 採 決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第38号議案〕  
市道路線の認定の件

### 質 疑

問 市道若泉1号線と県道敦賀駅東線の交差点で、市道側に止まれるの標識等は設置されるのか。

答 該当する交差点については、県が整備を進めているが、標識の設置等についての報告は受けていない。きらめきスタジアム駐車場の出入口と重なる場所もあるため、交通安全上、必要な

標識については、公安委員会と協議し、整備を進めるよう県に要望していきたい。

問 市道188号線と県道敦賀駅東線の交差点は、市道側が一時停止することになるのか。

答 道路の形状から、県道敦賀駅東線が優先道路となるため、市道側が一時停止になると考えている。

問 市道中9号線から国道8号バイパスへ合流する際、左右どちら側にも行けるのか。

答 信号付きの交差点になるため、中9号線から福井方面でも滋賀県方面でも、右折、左折が可能である。

### 討 論

賛成 現在、中地区近辺から国道8号バイパスへ出る道路は少なく、泉ヶ丘方面へ上がっていく道路等しかない。地域住民の方は不便な思いをしていると思うが、市道中9号線により、国道8号バイパスや敦賀駅方面にも行きやすくなり、非常に有益な道路整備であると考えられるため、市道の認定には賛成である。



## 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

### 文教厚生 常任委員会

#### 〔第21号議案〕

敦賀市手話言語条例制定の件

#### 質疑

**問** 令和2年9月に請願が提出されてからこの議案が提出されるまでの間に関係者とは何回協議を行ったのか。

**答** 時系列にすると、まず、聴覚障がい者福祉協会との意見交換を1回行い、次に、障がいを持つ方のコミュニケーション支援に関する意見交換会を2回開催した。次に、手話サークル、聴覚障がい者福祉協会の方々との打ち合わせを個別に行い、その後、年が明けてから手話言語条例、コミュニケーション条例の検討会という名称に変更し3回行っている。

**問** 第7条に事業者の役割として、「ろう者が利用しやすいサービスへの心掛け及びろう者が働きやすい環境の整備に努めるものとする」とあるが、具体

的にどのような内容を事業者に求めているのか。

**答** 例えばろう者を理由に不採用とするのではなく、事業者側が手話を使用できるようにしたり、筆談でも会話ができるような職場環境作りをお願いする予定である。

**問** 第8条第2項に「毎年1回以上、ろう者及び関係団体等との協議の場を設けるものとする」とあるが、要綱等で協議会を明確に位置付けるのか。

**答** ろう者の方々との意見交換会の中で、特定の方が参加する協議会の設置を望んでいるのではなく、誰でも参加が可能な会を設けてほしいという要望があったことから協議の場としている。

#### 討論

**賛成** 手話の普及についてはろう者の役割にあり、市の責務として明記してほしかったと思うが、毎年1回以上当事者の方々との協議の場を設け、手話の普及に務めていくという答弁だったので賛成する。

#### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

#### 〔第22号議案〕

敦賀市障がいのある人の情報取得・コミュニケーション支援に関する条例制定の件

#### 質疑

**問** コミュニケーション支援に関する条例に関してどれだけの市町村が制定しているのか。

**答** 令和2年11月末現在で、全国的にコミュニケーション条例のみの条例を制定しているのは21市町村。手話のみの条例を制定しているのは316市町村。手話及びコミュニケーション条例を併せた条例を制定しているのは54市町村である。また、県内でコミュニケーション条例のみを制定しているのは勝山市のみである。

**問** 事業者に求める合理的配慮の具体的な内容について伺う。

**答** 合理的配慮は、今回のコミュニケーション条例だけでなく、様々な場合に適用されるが、「障害者差別解消法」にて義務付けられており、具体的には、障がい者から社会的障壁を取り除くことが必要という意思表示があった場合、その実施を伴う負担が過重な負担にならない範囲で障がい者の

権利や利益を侵害することのないよう適切な調整及び変更を行うことである。

#### 討論

**賛成** 本来、障がいのある方とのコミュニケーションに対し、周りの理解があればこのような条例は必要がないが、コミュニケーションをうまく取れず苦労している方々がいることから、こういった条例が制定され、周りの配慮をもとに、スムーズなコミュニケーションがとれることを期待し賛成とする。

#### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

# 特別委員会中間報告

## 原子力発電所 特別委員会

### 日本原子力発電株式会社関係

#### 質疑

**問** 敦賀発電所2号機の件について、先日、日本原子力発電株式会社から根本原因分析計画及び方針を3月末までに完成させるという説明があったが、敦賀市ではどのように聞いているか。

**答** 同じく3月末までに報告書を提出するということで聞いているが、現状として報告書の取りまとめができていない状況である。

**問** 安全を監視する立場として、計画が完成する前段階から内容の確認は行わないのか。

**答** まずは事業者から根本原因分析等の報告を受けることが先決であり、これを受けてから意見等を述べることはあると考えている。

## 新幹線対策

### 特別委員会

## 敦賀駅西地区土地活用事業について

用地協議等の状況や、各工事等の進捗として、敦賀駅通信機器室、敦賀車両基地通信機器室及び、敦賀変電所外3箇所変電設備建屋がそれぞれしゅん工し、各部門に引き渡しを終えたこと等の報告があった。

#### 質疑

**問** 工程が1年程遅れたことを受け、鉄道運輸機構等と工程管理面での連携強化はされたのか。

**答** 工程の見直しについては地方自治体とも情報共有を図る中、石川県副知事、福井県副知事や鉄道運輸機構等で、『金沢・敦賀間工程・事業費管理連絡会議』が持たれた。また、その下部に設置した福井県地域戦略部長や各駅設置市の担当部長をメンバーとする『幹事会』において、詳細な工程管理が行われるようになった。今年4月1日から鉄道運輸機構の大阪支社に代わり福井市に建設局長、敦賀市に担当部長がそれぞれ配置されるようになり、自治体との連携も強化されている。

**意見** 市議会でも工程について細かく

調査できるように、計画進捗率と現状との比較確認ができる資料作成、説明を希望する。

## 廃棄物対策

### 特別委員会

次の3点について、説明を受けた。

## 本市と美浜町との一般廃棄物の共同処理について

令和4年度からの開始を目指している。共同処理する施設は、既存の敦賀市清掃センター、新清掃センターの建設及び共同処理、新一般廃棄物最終処分場の建設及び共同処理である。

## 新清掃センター整備事業について

建設予定地は、現在の清掃センターの周辺を予定。令和8年度の供用開始を目指す。事業発注方式は、設計、建設、運営を一括発注するDBO方式を最適として計画し、ごみ処理施設の運営のみを行うための特別目的会社（SPC）を運営事業者を設置させる形を考えている。

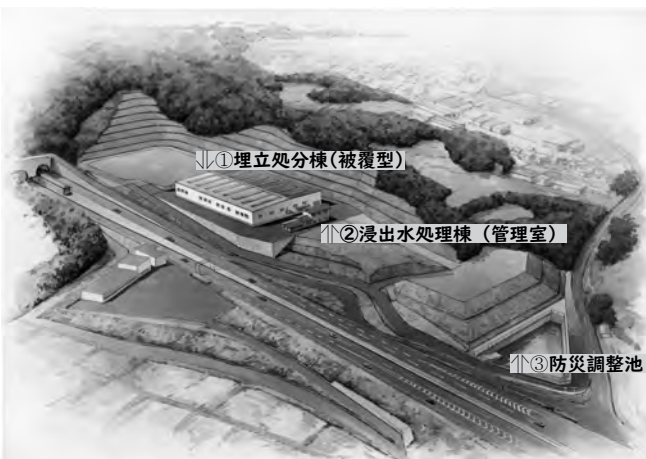
## 新一般廃棄物最終処分場整備事業について

建設予定地は金山地係。処分場の形式はクローズド型。令和5年度に完成の上、赤崎最終処分場の状況を見ながら供用開始を目指す。

#### 質疑

**問** 新最終処分場整備予定地の土地の所有、物件移転についての状況は。

**答** 相手方から期間延長の要望があり、昨年12月31日までの移転期限を5月末までに延長している。



新最終処分場施設のイメージ図



# 代表・一般質問

3月9・10日の2日間、市政会、同志会、市民クラブ、公明党、日本共産党敦賀市議員団が代表質問を行い、10・11日の2日間、9人の議員が一般質問を行いました。

## 代表質問 項目一覧

### ◎市政会

- 1 財政運営について
  - (1) 当初予算、中期財政計画
  - (2) 第7次総合計画
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
  - (1) 陽性者への対応
  - (2) 発熱外来、PCR検査、相談窓口
  - (3) 保育園・幼稚園・学校における対応マニュアル
  - (4) ワクチン接種
  - (5) 経済対策
- 3 エネルギー対策について
  - (1) 原子力政策
  - (2) 水素エネルギーの活用
- 4 観光・まちづくりについて
  - (1) 新幹線敦賀開業遅延の影響
  - (2) 新幹線敦賀開業に向けての受け皿づくり
  - (3) 敦賀市の特産を生かした観光
- 5 福祉行政について
  - (1) 高齢者福祉
  - (2) 敦賀市障がい者福祉計画
  - (3) 「子ども・子育て」「健康づくり」
  - (4) 地域共生社会

- (1) 避難行動要支援者避難支援
  - (2) 避難所の小規模・分散化
  - (3) 大雪への対応
  - (4) 災害に係る情報発信機能
- 3 エネルギー政策について
    - (1) 「エネルギー基本計画」見直しに向けた市の対応
    - (2) 多様化するエネルギーを幅広く学ぶ機会との提供と人の交流促進
  - 4 道路網整備について
    - (1) 敦賀-高島連絡道路
    - (2) 一般国道8号敦賀防災

### ◎公明党

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - (1) 敦賀市のワクチン接種体制整備と課題
- 2 当面する市政の重要課題について
  - (1) 第7次敦賀市総合計画の戦略と国土強靱化地域計画の連携
  - (2) 敦賀市地域福祉計画と今後の取組
  - (3) 人道の港敦賀ムゼウムの充実と今後の展望
  - (4) 敦賀市のICT化の取組と進捗状況・今後の展望

### ◎日本共産党敦賀市議員団

- 1 困っている市民への支援について
  - (1) 第7次敦賀市総合計画と生活困窮者
  - (2) 中小業者への支援
  - (3) 住まいの支援
  - (4) 生活保護
- 2 敦賀市障がい児者福祉計画について
  - (1) 地域生活支援拠点
  - (2) グループホーム
  - (3) 65歳問題
- 3 保育所の統廃合と認定こども園化、民営化の問題について

### ◎同志会

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 コロナ関連予算について
- 3 指定管理者制度について
- 4 リラ・ポートについて
  - (1) 責任の所在
  - (2) 再開時期と再発防止策

### ◎市民クラブ

- 1 コロナ禍を乗り越える中小企業支援について
- 2 防災対策について

## 一般質問 項目一覧

### ◎福谷正人

- 1 新幹線敦賀開業を見据えた中心市街地活性化について
- 2 災害に備える危機管理について
- 3 教育環境について
  - (1) 角鹿小中学校
  - (2) タブレット端末の導入とDX

### ◎有馬茂人

- 1 敦賀市の雇用創出への取組について
  - (1) 水素・新エネルギー関連産業誘致
  - (2) 観光需要の創出（サイクルツーリズム・オーバーチュース誘致）
  - (3) 第7次敦賀市総合計画

### ◎三國真弓

- 1 AED設置場所について
- 2 子どもの見守り強化について

### ◎川端耕一

- 1 鳥獣被害防止計画について
- 2 学校給食における地産地消について

### ◎松宮学

- 1 介護を必要とする高齢者の負担軽減について
  - (1) 特別障害者手当
  - (2) 障害者控除
- 2 介護報酬について
- 3 地域産業振興条例について

### ◎浅野好一

- 1 敦賀市内道路、交通網について
  - (1) 災害有事での迂回路整備
  - (2) 新幹線敦賀開業後に向けての道路整備
- 2 国民健康保険税について
  - (1) 各種減免制度
  - (2) 繰入金
  - (3) 資産割税率

### ◎前川和治

- 1 アフターコロナを見据えた社会について
- 2 公共施設の利活用について
- 3 新しい公園づくりについて
- 4 スマートエリアの推進について

### ◎馬淵清和

- 1 今後の廃棄物処理施設の建設について
- 2 檜曲民間最終処分場について
- 3 井の口川の河川整備計画と周辺整備について

### ◎北村伸治

- 1 名勝気比の松原の保全対策と松原公園等について
- 2 水戸烈士記念館（ニシン蔵）について

敦賀市議会 HP から動画視聴ができます。

代表質問



林 恵子 (市政会)

敦賀市の福祉行政について

問 高齢者の入居施設やまびこ園の施設の老朽化が進んでいると聞いていますが、バリアフリーなど改修計画や新設の整備計画はあるのか。

答 建設から約26年が経過しており、老朽化が進んでいることから適宜、修繕を行い、維持管理に努めている。入所者の約半数が高齢者であり、バリアフリー化などの改善が必要となってくるため、入所者の状況の把握に努め、改修について判断していきたい。新たな施設の整備については、現時点では予定はない。

問 来年度の保育園入園にあたり、待機児童はいるか。また、きょうだいが別の園に入園する方がいると聞か、入園の要件は各自治体での設定となっているのか。敦賀市の実情に合わせ順序設定の見直しが必要と思うが見解はどうか。

答 保育の必要性があり、保育所等園の利用を希望する方はすべて受け

入れできる状況で待機児童は発生しない見込みである。加味する条件には、保護者の方の労働時間等の事情による保育の必要性や、世帯の状況といった多くの項目があり、きょうだいの在園状況を優先して入園する順位を決定することはできないので理解いただきたい。

敦賀市の財政運営について

問 令和3年度予算編成作業等を通じて、当市の今後の財政運営についてどのような課題を認識されたか。

答 短期的にはコロナ対策、中長期的には大規模プロジェクトの進捗に向けた各施策を着実に積み重ねながら健全財政を維持できるように努めていきたいと考えている。

問 第7次総合計画の主要プロジェクトの中に子育て支援の充実による人口増加とあるが、保育園、児童クラブの充実等はどのようなことを考えられているのか。

答 老朽化した保育施設等の施設改修等を進めるとともに、角鹿中学校校内での児童クラブの整備といったハード施策、またソフト施策として保育園のICT推進事業に取り組む。

代表質問



豊田耕一 (同志会)

市長の政治姿勢について

問 市長は、百条委員会で証人尋問を行った議会に対し、これからも議会との議論を通して、鋭意、市政運営に取り組むことを約束してくれるのか。

答 市長と議会は車の両輪にも例えられ、共に同じ方向を向いて進んでいかなければ前に進むものではない。是々非々はあるが、共に議論を重ねてより良い方向へ進めていきたい。

問 私たちも是非々の議論を重ね車の両輪のごとく、市民の利益、将来の敦賀市のために頑張るが、市長も同じ方向であると確認できた。市長は、自分の心を外に出し、自分自身を眺めてみるという自己観照はできているのか。

答 自己を省みて、客観的に見つめることができていると考える。これからも自分の利益や、自分の周りのことではなく市政を前に進めていきたい。

問 私はリラ・ポートを長期休館させたことに責任を感じ、責任の取

り方を考えていたところ、諸課題と真摯に向き合っていくことだと多くの市民に教えられたが、市長が責任を感じていることはあるのか。

答 政治家としての役割と権能に応じて、その責任を全うすべきものと考えており、市長として市民の負託を受け、その重責というのを常に感じている。

リラ・ポートについて

問 市民は一日も早い再開を望んでいるが、再開はいつになるのか。

答 現時点では未定。早期再開を目指すしている。運営体制が決定次第再開に向けたスケジュールを示したい。

問 多くの市民の憩いの場を1年以上上奪ってしまったことにより、と向き合って、市民のために1日も早い再開と、再発防止に向けて取り組むべきであるが、市長は、この問題に対して、どのように取り組んでいくのか。

答 リラ・ポートは、1年以上休業しているが、現在、あり方検討委員会において検討を進めている。なお、スピードについても、コロナ禍の影響がある中で、遅滞なく最速で進んでいる。

## 代表質問



山本武志

(市民クラブ)

### エネルギー政策について

**問** 2050年の長期を見据えたエネルギー政策の方向性を示す第6次エネルギー基本計画は、本市の産業構造や地域経済、地方財政の維持、発展を図るに当たり、極めて重要な道しるべと考えるが、計画見直しに向けて敦賀市としていかに対応していく考えか伺う。

**答** 2050年CO2排出量実質ゼロという極めて挑戦的な目標を達成するためには、現時点で確立した脱炭素技術である原子力発電を最大限活用していくことが欠かせないと考えており、今後も基本政策分科会での議論を注視しながら、時期を逸することなく全原協や立地協を通じて敦賀市としての思いを国に伝えていきたい。

**問** 文科省が将来的に敦賀市を西の原子力研究拠点にしていくと位置付けており、原子力の研究開発や人材育成拠点化のさらなる下地づくり、産官学が連携した幅広く学ぶ場、人の交流ということに一層取り組むべきと思うが考えを伺う。

**答** 今後とも文科省や県等と協力し、産官学の連携を深め、多くの市民に参加いただける学習機会、交流機会の提供をしていきたいと考えている。

### 道路網整備について

**問** 粟野地区区長連合会が提出した粟野地区の山から滋賀県マキノに抜ける県境トンネル早期実現に向けた要望書に対する市の受け止めを伺う。

**答** 要望書では、ハーモニアスポリス構想に対し、粟野地区区長会として大きな期待を寄せているとあり、私と思いは一緒で、大変心強く思っている。道路整備の促進期成同盟会をできるだけ早く設立したいと考えている。

**問** 一般国道8号敦賀防災に関し、現在、市のほうで田結・拳野間の積極的な用地取得がされ、約6割の地権を得たとのことであるが、今後の見通しと整備完了に向けたスケジュールの見込みを伺う。

**答** 引き続き田結、赤崎地区の未取得分の用地取得を進めるとともに、来年度から新たに五幡、拳野地区の用地交渉に取り組み、一日も早い工事着手を国に求めている。

## 代表質問



中道恭子

(公明党)

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 市民へのワクチン接種が安全に滞りなく進められることを願い、現時点での接種に関する方向性について伺う。

**答** 在宅介護者の接種については、病院や診療所での個別接種が可能となるので、集団接種ではなく、かかりつけ医と相談して欲しい。また施設入所の方は、施設内での接種を調整中である。

**問** 副反応への対応について伺う。

**答** 県のガイドラインを基に対応していくこととなるが、個別接種における副反応への対応は、各病院や診療所に対応いただくこととなる。集団接種会場においては、救急時に対応できるように薬剤や物品等を準備するとともに、敦賀美方消防組合とも連携を取り、緊急の際にはいち早く対応できるように備えている。また、医師への副反応対応の研修についても検討している。

### 当面する市政の重要課題について

**問** 今定例会において「敦賀市手話言語条例」、「敦賀市障がいのある人の情報取得・コミュニケーション支援に関する条例」制定の議案が提出されたことは大変うれしく思うが、第8条に記載されている協議会の在り方について伺う。

**答** 当事者や関係団体の方との話し合いを重ねてきたが、出席者を固定する協議会の設置ではなく、自由に見交換を行う場を求めておられることから、毎年1回以上協議の場を設け、施策についての評価や次年度以降の取組について意見を求めていく。

**問** 福祉の窓口での包括的な断らなとの連携は取れているのか伺う。

**答** 相談内容を詳細にお聞きし、必要な部署との連携を図り、相談者が一つの場所へ移動することなく相談を受けられるように心がけている。また、一つの部署や機関での解決が難しい案件は、必要に応じて関係機関がケース会議を開催し、支援方法等について協議をしている。



代表質問



山本貴美子

(日本共産党 敦賀市会議員団)

困っている市民への支援につ

問

本市に新型コロナウイルス感染症対策の交付金が約8億6千万円交付されたが、約2億2540万円残っている。コロナ禍で困窮している中小業者に対し、市独自で事業の継続支援、店舗の家賃補助など直接的な支援を実施すべきではないか。

答

アフターコロナを見据えた経済活動の推進が重要と考え、前向きな取組を行う事業者を支援すべく予算を計上した。昨年度実施の中小企業者事業継続支援給付金はやる予定はない。

問

生活困窮者が増えているが、扶養照会によって疎遠となっている家族に知られたくないと生活保護を拒むケースが多いため、厚生労働省は生活保護申請時の扶養照会の運用を見直す通知を自治体に出した。そこで、扶養照会をなくすべきと考えるがいかがか。

答

国の通知に基づき、要保護者の相談に当たっては丁寧な生活歴を

聞き取り、適切に対応していきたい。

敦賀市障がい児者福祉計画につ

問

障がい者が65歳になると障害福祉から介護保険に切り替わり、利用料の負担が増える、障害福祉サービスが受けられなくなるなどの問題が生じる。厚生労働省は、平成30年に一定の要件を満たす障がい者に対して自己負担を軽減する新高額障害福祉サービス給付費を設けたが、本市の支給は何人か。

答

対象者の絞り込みや給付費の算出等のシステム対応が難しく時間を要しているため現在は支給していない。今後、給付に向け準備を進め、対象者の方に平成30年4月に遡り給付できるように案内していく。

問

厚生労働省は一律に介護保険サービスを優先的に利用することとせず、利用者の意向を聞き判断するよう求めている。一律に介護保険へ移行させることなく、必要なサービスを受けられるようにすべきと考えるがいかがか。

答

本市では、利用者や御家族等に状況や意向をお聞きし、個々のケースにおいて柔軟に対応している。

一般質問



福谷正人

(市政会)

教育環境について

問

児童生徒一人一台のタブレット端末の導入はデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するよい機会ではないか。教育現場、また市としてのDXの捉え方、推進の方針を伺う。

答

教育現場ではICTをこれまで教育実践に組合わせ有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現につながる取組を研究していく予定。市としては総務省の策定した自治体DX推進計画に基づき推進していくとともに、あらゆる分野でICT技術を活用した施策の研究を早急に進めていきたい。

問

DX推進に特化した職員やデジタルネイティブ人材を採用したり、DX推進室をつくるなど、DXをぜひ推進していくべきだと考えるが所見を伺う。

答

専門的かつ高度な知見、識見、知識を有する職員を特定任期付職員で採用するなど、早急に体制等を整え、研究、検討していきたい。

一般質問



三國真弓

(無所属)

AED設置場所について

問

一般財団法人日本救急医療財団の全国AEDマップでは、AED設置場所を、文字ではなく地図で確認でき、官民いずれの場所を問わず把握できる。市民が緊急時に対応できるように本市のホームページでも掲載してはどうか。

答

当該サイトや福井県医師会のホームページを本市のホームページとリンク設定することで対応したい。

子どもの見守り強化について

問

支援対象児童等見守り強化事業は、国の補助率10分の10で本市の財政上の負担もなく、子どもたちの状況把握のための体制づくりにもつながることから、今後実施してはどうか。

答

見守り事業の安定的な実施方法、事業の継続性と補助対象となるような活動等、実施可能であるか等も含め、いろんな団体と引き続き意見交換を行って検討していきたい。

## 一般質問



松宮 学  
(日本共産党  
敦賀市会議員)

介護を必要とする高齢者の負担軽減について

## 問

特別障害者手当は、精神又は身体に重度の障害を有し、常時特別な介護を必要とする方に、月額2万7350円が支給される制度である。例えば障害者手帳がなくても、介護度が高い場合、この手当の認定基準に該当し、認定されれば受給できる可能性があるため、制度の周知徹底をするべきと考えるが、見解を伺う。

## 答

本市のホームページ及び広報つるがで、さらなる制度の周知徹底を図っていききたい。

## 問

障害者控除は、介護認定を受けている高齢者にも適用される内容で、敦賀市に申請すれば、障害者控除対象者認定書が発行されるといふものだが、今後どのように周知するのか伺う。

## 答

今後も、広報つるがに掲載するほか、介護保険の認定結果通知書を送付する際に、案内チラシを同封し、周知を行っていききたい。

## 一般質問



前川和治  
(無所属)

新しい公園づくりについて

## 問

コロナ禍にあつて遠くへ遊びに行けない中、近所の公園の需要がとて高まっている。市内には大小169の公園があるが、市民ニーズとあつていない公園が多い。子育て世代が多い地域の公園には、遊具の設置など、子どもや、子育て世帯、高齢者世代と一緒に公園の再整備を行う市民参加型の公園づくりを目指してはどうか。

## 答

地域の特性に配慮した機能を有する公園や、地域住民の要望に寄り添った施設を備える公園を目指したい。

## 一般質問



北村伸治  
(市政会)

水戸烈士記念館（ニシン蔵）について

## 問

1865年武田耕雲斎等823名は、船町（現蓬萊町）のニシン蔵16棟に収容された。その大部分は、敦賀築港工事のために取り壊すことになったが松原神社の境内へ一棟、水戸市へ一棟移設された。この建物は、木造平屋建切妻造瓦ぶき、南北のはり3間、東西のけた13間の平面で東から4間・2間・2間の間隔で3か所建てである。今後移設することだが、どのような移設をするのか。

## 答

ニシン蔵は令和2年11月6日に市の文化財に指定された。今後の修理、移築については、令和3年度に解体調査を実施し、一旦分解し、令和4年度に修復復元工事を実施する予定である。

## 問

移設場所はどこを計画しているか。

## 答

旧松原公民館の跡地及び駐車場を候補地として挙げている。

## 一般質問



有馬茂人  
(市政会)

敦賀市の雇用創出への取組について

## 問

市長はリーダーシップを発揮して、水素製造企業誘致等、敦賀を牽引するプロジェクトにチャレンジすべきではないか。高木元敦賀市長がオイルショック後の変革時に北陸電力敦賀火力発電所を誘致した時のような積極的な取組が求められているのではないか。

## 答

敦賀港と送電網を有する本市は水素発電の適地と考えている。高温ガス炉や民間事業者の地点選定について今から手を挙げていく必要があると考える。今後、積極的に取り組んでいきたい。

## 問

サイクルツーリズムやオーベルジュ（郊外や地方にある宿泊施設を備えたレストラン）の誘致等、地域雇用やビジネスチャンスを意識した取組が足りないのではないか。

## 答

この2つの事業は、令和3年度に福井県でも取り組むと聞いています。県とも連携しながら雇用やビジネスチャンスを意識して積極的に取り組む。



一般質問



川端耕一  
(市政会)

学校給食における地産地消について

**問** 地場産食材利用率向上検討委員会の目的、活動内容及び構成員について伺う。

**答** 学校給食での地場産食材の活用推進を目的に、給食センター、生産者、JA福井県、敦賀合同青果、福井県嶺南振興局二州農林部、敦賀市農林水産振興課、敦賀市学校教育課、学校栄養教諭、学校調理員で構成され、学校給食において必要な農産物の量を提示し、生産者に栽培への依頼や各関係者間で規格のすり合わせを行っている。

**問** 検討委員会の参加者以外で協力頂ける方を検討しているか伺う。

**答** 生産者を取りまとめるJA福井県の方が参加しており、今後もこのような形での生産者への働きかけを継続していきたい。将来的には学校給食に提供できるような生産体制が整うよう協議していきたい。

一般質問



浅野好一  
(市政会)

敦賀市内道路、交通網について

**問** 国道8号が災害等で渋滞となった時に迂回路となる県道五幡新保停車場線の整備状況、また、西浦、敦賀半島の自転車道整備について伺う。

**答** 県道五幡新保停車場線については一部平成27年度から測量、設計等が実施され、現在は用地取得に努めており、今後も県への要望を続けていく。西浦、敦賀半島の自転車道については県が進めるナショナルサイクルルート整備に向けた取組で、令和3年度以降、路面標示、看板設置等の整備検討を県と連携して取り組んで行きたい。

国民健康保険税について

**問** 国民健康保険税の算定方式（4方式）の内、固定資産税の税率20%の資産割の廃止、改定について伺う。

**答** 県の運営方針に基づき資産割の縮小、廃止に伴う保険税負担の変化等の影響に配慮しながら、他市町の動向を注視し適切に対応したい。

一般質問



馬淵清和  
(市政会)

今後の廃棄物処理施設の建設について

**問** 新清掃センター（櫛川）の今後のスケジュールを伺う。

**答** 令和3年度に施設建設、運営費の予算案提出、建設・運営事業者の入札公告、契約締結後、設計、造成工事、施設の建設、令和8年度中に供用開始。

井の口川の河川整備計画と周辺整備について

**問** 井の口川北側一部を小型船舶の係留施設にする計画があるのか。

**答** 敦賀港長期構想で放置艇対策として貯木場を活用した小型船だまり等を整備する方向性が示される予定。

**問** 貯木場を県に埋め立ててもらいたい市の産業団地候補としてはどうか。

**答** 倉庫や運送事業の営業所の用地不足への対応、また市の産業振興を含め土地の有効活用を協議する。

# 令和3年度 議会報告会延期のお知らせ

5月18日(火曜日)に開催を予定しておりました敦賀市議会報告会につきましては、

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**開催を延期**としました。

今後の開催につきましては、状況を踏まえて改めて日程や開催方法の検討を重ねてまいります。

何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



# 審 議 結 果 一 覧

令和3年第1回定例会では、令和2年度各会計補正予算案9件、令和3年度各会計予算案10件、条例案17件、一般・人事議案6件、報告議案7件、議員・委員会提出議案3件が審議されました。各議案等の審議結果については、次のとおりです。

## 市長提出議案

### 1 予 算

件 名	付託委員会	結果
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第21号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部）特別会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第8号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市一般会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市港湾施設事業特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市介護保険特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市産業団地整備事業特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市後期高齢者医療特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算決算	可決
令和3年度市立敦賀病院事業会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市水道事業会計予算	予算決算	可決
令和3年度敦賀市下水道事業会計予算	予算決算	可決

### 2 条 例

件 名	付託委員会	結果
敦賀市ふるさと応援基金条例制定の件	総務民生	可決
敦賀市手話言語条例制定の件	文教厚生	可決
敦賀市障がいのある人の情報取得・コミュニケーション支援に関する条例制定の件	文教厚生	可決
押印を求める手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	総務民生	可決
敦賀市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市介護保険条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市立学校使用条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市奨学育英資金貸付基金条例の一部改正の件	文教厚生	可決
松下むめ文庫基金条例の廃止の件	文教厚生	可決
敦賀市水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市下水道条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決

### 3 一 般・人 事

件 名	付託委員会	結果
市道路線の廃止の件	産経建設	可決
市道路線の認定の件	産経建設	可決
損害賠償の額の決定及び和解の件	文教厚生	可決
敦賀市副市長の選任につき同意を求める件	—	同意
敦賀市副市長の選任につき同意を求める件	—	同意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	同意

### 4 報 告

件 名	結果
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第19号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第20号））	承認
専決処分事項の報告の件（職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市介護保険条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ

## 議員・委員会提出議案

件 名	付託委員会	結果
廃棄物対策特別委員会の設置の件	—	可決
敦賀市議会会議規則の一部改正の件	—	可決
「エネルギー基本計画見直しに関する意見書」提出の件	—	可決



# 議会日誌

令和2年12月22日以降の主な議会活動の紹介です。

1月	7日 (木)	広報広聴委員会
	13日 (水)	産経建設常任委員会、福井県市議会議長会議員研修会（ウェブ開催）、 広報広聴委員会
	18日 (月)	広報広聴委員会
	22日 (金)	議会報告会収録
	25日 (月)	議会運営委員会
	27日 (水)	敦賀市議会議員研修会（ウェブ開催）、議員説明会
29日 (金)	各派代表者会議	
2月	3日 (水)	産経建設常任委員会
	9日 (火)	広報広聴委員会
	14日 (日)	議会報告会（RCN議会チャンネル放送）
	15日 (月)	議会報告会（RCN議会チャンネル放送）、各派代表者会議
	16日 (火)	議会報告会（市ホームページ、YouTube掲載開始）
	17日 (水)	議会運営委員会
	19日 (金)	議員説明会
	24日 (水)	全員協議会、本会議（3月定例会開会）、議会運営委員会、全常任委員会、 全特別委員会、広報広聴委員会
25日 (木)	予算決算常任委員会全体会・分科会（補正予算審査）	
3月	1日 (月)	予算決算常任委員会全体会（補正予算採決、当初予算審査）
	2日 (火)	予算決算常任委員会分科会（当初予算審査）
	9日 (火)	議会運営委員会、本会議（補正予算等採決、代表質問）
	10日 (水)	本会議（代表質問、一般質問）
	11日 (木)	本会議（一般質問）
	12日 (金)	総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
	15日 (月)	原子力発電所特別委員会、新幹線対策特別委員会
	16日 (火)	廃棄物対策特別委員会
	17日 (水)	総務民生常任委員会、予算決算常任委員会全体会（当初予算採決）、議会運営委員会、 広報広聴委員会
22日 (月)	議会運営委員会、全員協議会、本会議（3月定例会閉会）	
24日 (水)	議員説明会	
4月	7日 (水)	議員説明会
5月	14日 (金)	全員協議会
	19日 (水)	議員説明会

## 敦賀市議会ホームページにアクセス！

以下のような情報を公開しています

- ・過去（27年度から）の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

[https://www.city.tsuruga.lg.jp/about\\_city/parliament/shigikai\\_top.html](https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/shigikai_top.html)

敦賀市議会 検索

電話：22-8157  
 住所：敦賀市中央町2丁目1番1号  
 発行所：敦賀市議会  
 委員：山本 貴美子  
 委員：豊田 耕一  
 委員：川端 耕一  
 委員：縄手 博和  
 委員：中道 恭子  
 委員：今大地 晴恵  
 委員：林本 武志  
 委員：山本 志



## 6月定例会の日程（予定）

6 June 2021						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
5/30	31 告示日	1	2	3	4	5
6	7 本会議	8 予算決算 常任委員会	9	10	11	12
13	14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18 常任委員会	19
20	21 特別委員会	22 特別委員会	23 予算決算 常任委員会	24	25	26
27	28 本会議 (報告・採決)	29	30	7/1	2	3